

私はもう一度写真を見た
 みんな笑っている
 幸せそうに笑っている
 たくさんの夢があったはずだ

かみだともか
 沖縄戦没者追悼式 中2 嘉味田朝香さん

戦争・自然災害、一度に多くの人々のいのちを奪ってしまう。震災から百カ日の卒哭忌(そっこくき)を過ぎました。

仙台市で震災により自宅に住めなくなった内山優希さんは、仙台七夕の飾りを作り始めました。

「前向きに歩いて行けるよう、きれいな吹き流しを作りたい。仙台はこんなに元気になんぞって知ってもらいたい。」

過去・現在・未来。人は多くのものを抱えながらも力強く人生の歩みを進める。未来を見つめるところがそれを支えているのです。



由仁町 本覚寺 高橋宗瑛